



FUKUSHIMA
COLLEGE
CURRICULUM GUIDE
2011

● 開設科目一覧 ●



福島学院大学

はじめに

この小冊子は、2011年度の開設科目をまとめたものです。各学科の理解を深めるため、大学案内パンフレットと併せて活用してください。

なお、記載された科目は2011年度のものを受録してありますので、一部未収録の科目や2012年度以降に変更するものもあります。

関連用語の解説

【教育課程】 各授業を次の2つの科目群に分け、各年次にバランスよく配当して編成しています。

教養教育・・・学問の領域にとらわれず、幅広い教養と豊かな人間性を育むことを目的とした科目群。

専門教育・・・学科毎に設定された、専攻する分野の専門知識を深めるための科目群。

【授業科目】 次の科目種別に分けられます。

必修科目・・・卒業・進級のために必ず履修し、単位を修得しなければならない科目。

選択科目・・・自分の興味・関心等に合わせ、一定の条件の中で自由に選択し履修する科目。

選択必修科目・・・選択科目のうち、決められた条件の中で必ず履修しなければならない科目。

【授業の方法】 講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれか、または併用により行います。

【単位】 単位とは、学習時間を表したもので、ある科目について所要の時間数を履修し、その試験に合格したとき、あるいは、授業科目担当者がその科目を履修したことを認定した時に単位を取得できます。

全科目に、それぞれ1単位から6単位までの単位が設定されています。

【授業期間】 学年は前期（4/1より9/30まで）・後期（10/1より翌年3/31まで）の2期制で、1期は15週です。

授業は、前後各1期で完結のものと1カ年（通年）30週で完結のものがあります。

また、体育実技Ⅰ・Ⅱ「スキーⅠ・Ⅱ」や「マリンスポーツⅠ・Ⅱ」種目のように、ある期間に集中して終日実施される授業もあります。

【授業時間】 授業時間は1時限が90分です。

〔福島駅前キャンパス〕 福祉心理学科1・2・3・4年、情報ビジネス科

時 限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
時 刻	9:40~11:10	11:20~12:50	13:40~15:10	15:20~16:50	17:00~18:30

〔福島駅前キャンパス〕 専攻科保育専攻第二部

時 限	6時限	7時限
時 刻	17:50~19:20	19:30~21:00

〔福島駅前キャンパス〕 専攻科保育専攻第二部 土曜日

時 限	1時限	2時限	3時限	4時限
通 常 日	9:40~11:10	11:20~12:50	13:40~15:10	15:20~16:50

〔宮代キャンパス〕 保育科第一部、食物栄養科、専攻科福祉専攻第一部

時 限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
時 刻	8:50~10:20	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

〔宮代キャンパス〕 保育科第二部

時 限	5時限	6時限	7時限
時 刻	16:10~17:40	18:00~19:30	19:40~21:10

保育科第二部 土曜日

時 限	5時限	6時限
通 常 日	8:50~10:20	10:30~12:00
変 則 日	15:00~16:30	16:40~18:10

※キャンパスについては2012年度以降、変更になることもあります。

※保育科第二部は、所属クラスで授業開始時刻や実施曜日が異なります。

【成績評価】 100点満点で、60点以上が合格、59点以下が不合格です。

この他、GPAによる成績評価も行います。詳しくは、大学案内パンフレットをご覧ください。

【成績発表】 成績の発表は次のとおり行います。

①各学期末に成績を発表、書類をもって学生に通知します。

②成績の段階はA+～Fの6段階で、評点ごとの点数は次のとおりです。

段 階	A+	A	B	C	D	F
点 数	100点~90点	89点~80点	79点~70点	69点~60点	59点~50点	50点未満

単位の認定・不認定のみが記載される科目もあります。

③他大学・短期大学で修得したものはGPAに算入しません。

【卒業認定基準】 学生の教育研究の質的向上を図るため、卒業に必要なGPAを70点以上としています。

C以下の評価点を得た授業科目は、再履修願により再履修することができます。

短期大学部 専攻科保育専攻第二部

※ 下記は2011年度開設科目です。2012年度以降、一部変更もあります。

科目名	必修	選択	科目内容
音楽療法概論	●		音楽療法とは何か、どのように進めるのか等、音楽療法に関する基礎知識について最も基本となることを学ぶ。
音楽療法演習Ⅰ	●		障害種別、形態別、年齢別を踏まえ、音とからだ（心と身体）の関連を視野に入れた実践方法を学ぶ。
音楽療法演習Ⅱ	●		障害種別、形態別、年齢別また障害のみではなく、リラクゼーションを踏まえた、音とからだ（心と身体）の関連を視野に入れた実践方法を学ぶ。
身体表現及び即興演奏法Ⅰ	●		コードネームを理解し、それを鍵盤楽器による即興演奏で用いる能力を育成し、その上で音楽への幅広い理解力を養う。表現力と表現技術の習得及び創作の力や動き方等の表現方法を習得する。
身体表現及び即興演奏法Ⅱ		●	音楽の基本としての楽典を習得および鍵盤楽器による和声、即興演奏を用いる能力、メロディーを構築する力を養う。また、表現力と表現技術の習得及び創作の力や動き方等の表現方法を習得する。
器楽活用法Ⅰ	●		リコーダーや身近な打楽器等の基本奏法を身につけアンサンブル活動に生かす。アンサンブル活動を通して豊かな人間性と音楽的な感性を身につけるための演習を実施する。
器楽活用法Ⅱ		●	様々な音楽活動を通して、友達と協力しながら物語と音楽とのかわりを豊かに表現する。
音楽療法実習	●		学内の講義や演習等で学んだ理論と技術を活用し、音楽療法の実践をとおして、音楽が障害を持つ人々、高齢者にどのような効果、影響をもたらすかについて体験する。保育園や幼稚園、施設等において、1日4時間で12日間の音楽に関する実習を行う。
歌曲演習Ⅰ		●	障害児・高齢者への歌唱法を学ぶと同時に、発声法・ソルフェージュなど声楽の基本を学ぶ。また手作り楽器、ピアノ、ウクレレ等を用いて弾き語りする等、幅広い角度からの障害者への歌唱法を学ぶ。
歌曲演習Ⅱ		●	障害児及び精神疾患患者、高齢者への歌唱法を学ぶと同時に、リラクゼーションを必要とする人々への発声法、ソルフェージュなど声楽の基本から、うた遊びなども学ぶ。
音楽と心理		●	音楽療法の定義、音楽療法の歴史を学ぶと共に、多様なアプローチの理論的背景を理解する。
環境音楽		●	音楽療法における音楽の捉え方を考察することを通して、「人間と音楽の関わり」ないしは「人間にとっての音楽の意味」の理解をする。
障害児保育		●	障害児保育を支える理念、障害児を取り巻く保育の現状、様々な障害の理解と個別配慮、個に応じた保育支援、家庭に対する支援などを学ぶ。
障害児の心理		●	障害の概念や分類、症状、心理特性、原因について学習する。また、障害児に対する心理学的な援助原理や望まれる援助者の態度についても学習する。
障害者の心理		●	「心」についての一般概念を知り、障害を持つ人が抱える問題を理解し、障害を持つ人への援助原理を学習する。さらに、援助者の抱える問題についても学習する。
障害者福祉論 (メディア科目)		●	障害の概念や障害者福祉支援の基本理念を理解し、障害者福祉にかかわる社会福祉専門職のあり方を学ぶ。メディア（ビデオ）により授業を行う。「授業の内容」により指定したビデオを視聴し、レポートを提出する。
障害者福祉論		●	障害の概念、支援理念、障害者の生活、ニーズの実態などについて知り、実際の社会福祉支援（ソーシャルワーク）に関する知識を身につける。
老人福祉論		●	高齢者の現状と生活背景、高齢者福祉制度の歴史について理解する。また福祉従事者として必要な各種法制度について理解する。
医学概論 (メディア科目)		●	音楽療法を学ぶために必要な医療全般の状況を理解し、その基礎となるヒトの体と医学の知識を習得する。メディア（ビデオ）により授業を行う。「授業の内容」により回数ごとに指定したビデオを視聴し、レポートを提出する。
医学概論		●	心理関係専門職となるために必要な医学全般について理解し、その基礎となるヒトの体と医学の知識を習得する。
精神保健		●	精神保健全般に目を配りながら、子どもたちに関わる保育士として心に置いておくべきことに特に重点を置いて、どのようにすれば子どもたちが健やかに育ってもらえるか、そして自分もまた幸福になれるかを考える。
課題研究		●	音楽療法に関する内容、または関連科目、医学、心理学、福祉、教育の分野から1つ課題を選び、研究する。



FUKUSHIMA
COLLEGE
CURRICULUM GUIDE
2011